

自然学習講座

テーマ：冬の水元公園で野鳥を観察しよう！

日時：令和7年1月13日(月・祝)
10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人(どなたでも)

受付開始：令和6年12月12日(木)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年12月27日(金)までWeb・電話で受付。(※抽選制)



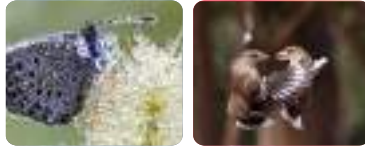
冬の
水元公園で野鳥たちの観察を
楽しみながら、その生態について
案内します。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ お持ちの方は双眼鏡、歩きやすい運動靴などでお越しください。
※ 小学校3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品募集 募集期間
令和6年12月7日(土)～
令和7年1月13日(月・祝)

葛飾区内で撮影された生きものの写真を募集します。応募方法は、水元かわせみの里などで配布される募集要項をご覧ください。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (i.e. Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 11月20日
(通算第212号)



水元小合溜の生きもの:202

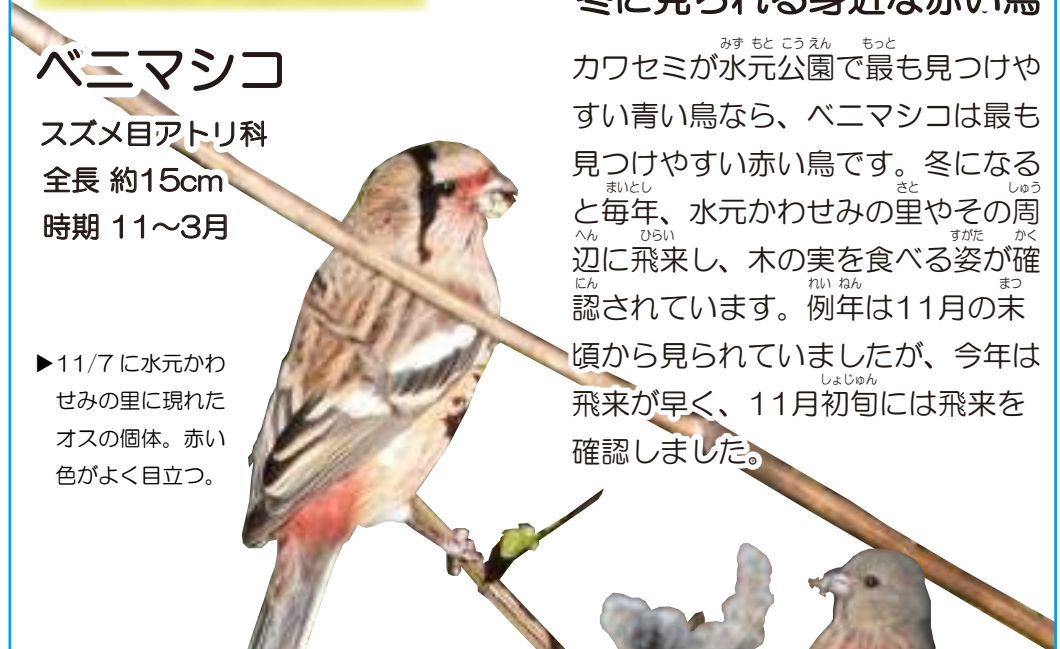
ベニマシコ

スズメ目アトリ科

全長 約15cm

時期 11～3月

▶11/7に水元かわせみの里に現れたオスの個体。赤い色がよく目立つ。



冬に見られる身近な赤い鳥

カワセミが水元公園で最も見つけやすい青い鳥なら、ベニマシコは最も見つけやすい赤い鳥です。冬になると毎年、水元かわせみの里やその周辺に飛来し、木の実を食べる姿が確認されています。例年は11月の末頃から見られていましたが、今年は飛来が早く、11月初旬には飛来を確認しました。

ふわふわの実が大好き

ベニマシコは木の実が好物で、特に外来種のセイタカアワダチソウの実を食べる姿をよく見ます。セイタカアワダチソウは水元かわせみの里の南東にある「かわせみの池」に多く生えているため、よく現れます。時には複数羽で実をついばむ様子も見られます。



▲セイタカアワダチソウの実を食べるメス。オスと異なり、地味な羽色をしている。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



11/13 オギ 小合溜の岸辺に群生している。ススキと似るが、種子に「ノギ」と呼ばれる長い毛を持たない。



11/13 サイカチ マメ科の木本で、大きくなじれた果実をつける。キャンプ広場～圃場で、落ちた果実が見られる。



11/13 エノキ 水元かわせみの里やキャンプ広場周辺などで、沢山の実をつけている。小鳥類が好んで実を食べる。



11/13 ゲンショウコ キャンプ広場に多く生える。ロケットの様な果実の皮がはじけ、下部の種子を散布する。



11/13 ヒドリガモ (手前2羽) 水元かわせみの里～キャンプ広場の小合溜で水草を食べる様子がよく見られる。



11/13 アカメガシワ (冬芽) 水元かわせみの里周辺では、黄葉は始まったばかりだが、すでに冬芽が育ちつつある。



11/13 オオバン キャンプ広場付近の小合溜で水草を食べていた。時折水に潜る様子も見られる。



11/13 チョウセンカマキリの卵のう 細長く、末端が毛筆の「払い」の様に伸びた形になっているのが特徴。



11/4 ヌスビトハギ 膝くらいの高さの株先に、通常2つの実をつける。公園内の、草丈の高い草地でよくみられる。

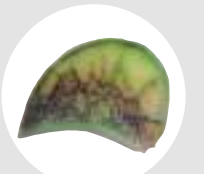
● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「様々な種の運ばれ方」のお話

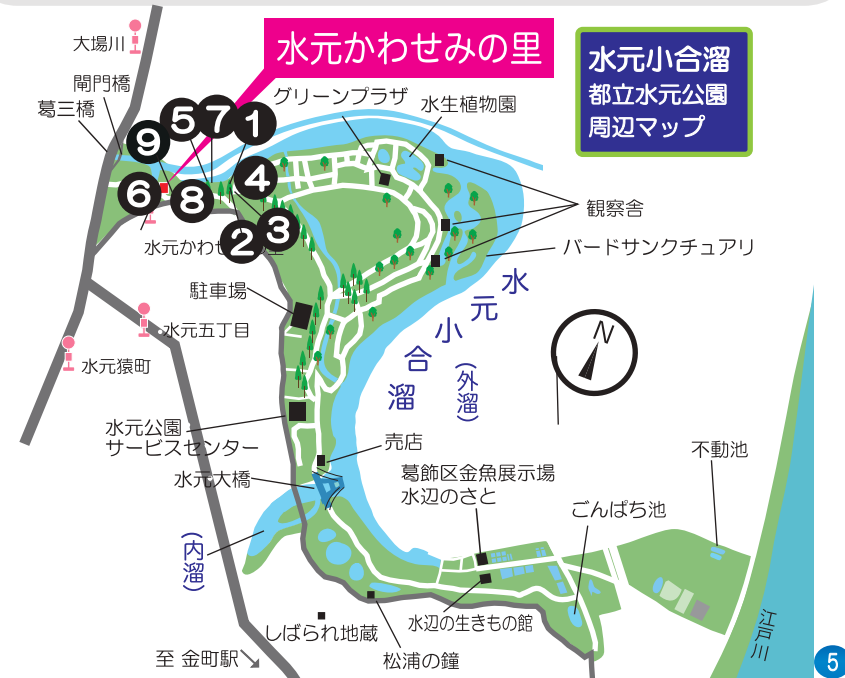
水元公園も秋の気配が深まり、公園内のあちこちで、どんぐりやひっつき虫、色とりどりの実など、様々な『木の実』が見られます。木の実の形状は様々ですが、よく観察してみると、それぞれ種を遠くに運ぶための、様々な手段を持っていて面白いのです。

例えば草むらを歩くとズボンにつくひっつき虫ことヌスビトハギ(9)。よく見ると細かい毛がびっしりとついています。ひっつき虫はこれを動物に付着させ、種を運んでもらいます。他にも、様々な色を付ける木の実も同じく動物利用です。色を付けることで自身を鳥などに目立たせ、食べさせることで種を運ばせているようです。丸いどんぐりは、カラスやリスに自分を隠させ、その隠し先から芽を出す『貯蓄散布』の他、そのころころとした形を使い、遠くに転がることでも移動します。

このように、木の実が種を運ぶ方法は種類ごとに様々です。種を遠くに運ぶという一つの目的のために、それぞれ違う手段を取り、多様な色や形を持つのが、とても不思議で面白いです。ぜひ公園内で木の実を探して、その木の実がどんな方法で種を運ぶのか、観察しながら考えてみてください。ここで紹介した以外にも、沢山の工夫がありますよ。(野間)



▲ヌスビトハギの実



ボランティア活動報告

ボランティア研修として、都市農業公園の視察を行いました！

11月9日に、足立区の都市農業公園にてボランティア研修を行いました。都市農業公園が高度に実践している、自然との共生を図る公園管理方法や、ビジターセンターにおける展示手法など、水元かわせみの里の参考になる事例を確認しました。



公園内の梅園にて、自然共生を掲げるきっかけとなった出来事についてお話を伺いました。



雨水で育つ田んぼも見学。田んぼには多くのカエルが見られるようです。



園内で出た落葉などは堆肥箱に移され、時間をかけて肥料にかわります。



人と自然の共生館では、館内の展示についても案内を頂きました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫のキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 11月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

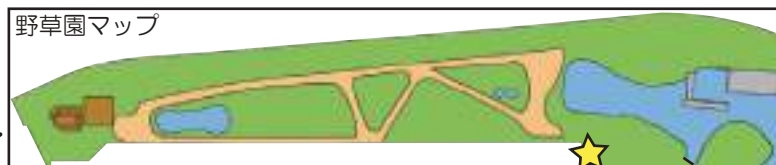
11月の見頃

スズメウリ

水辺や、平地の少し湿ったところに生える一年草のツル植物です。この写真は雌花と未熟な実ですが、熟すと実は大きく、白くなり、まるでスズメの卵のような見た目になります。大きさもスズメの卵とほぼ同じで、約1.5cmほどしかありません。他の植物や、外壁に巻きついている様子が見られます。



野草園マップ



見られるポイントはココ！